

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治22年頃は14の村落で構成されていた。昭和29年の市制発足以降より12の地区から構成されている。和田地区の面積は市全体の約14%に当たる約14.4km²、人口は約1%に当たる1,584人、世帯数は729世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【令和6年3月末現在】

○和田地区：面積 約14.4km² （佐倉市：面積 103.69km²）

○和田地区：住基人口 1,584人 （佐倉市：住基人口 169,930人）

○和田地区：人口密度 110人/km² （佐倉市：人口密度 1,638人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、地域社会教育活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした社会教育内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を結びつけていく事で、地域の活性化や課題に対応していくよう努める。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 施設・設備・備品の提供

- (1) 開館時間 月・水・木・土・日曜日・祝日 午前9時～午後5時
火・金曜日は午前9時～午後9時まで
(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)

- (2) 休館日 第2第4月曜日、12／28～1／4

3. 団体育成に関する事業

和田地区青少年育成住民会議・和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などを行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう支援・協力をする。

4. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

- (蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件数 (件)	491	89	173	217	207
利用人数 (人)	6,451	591	1,465	2,275	2,333
開館日数 (日)	307	230	333	333	334

令和5年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	3,079	84	2.7%
調理実習室	3,079	200	6.5%
団体室	3,079	46	1.5%
会議室	3,079	282	9.2%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	地域の幼児、保護者等	一年2回	子育て教室の参加対象者見込みがないため、教室の講師と協議の結果、今年度の開催は見送ることになった。
	家庭教育講座	地域の小学生、保護者等	12/2 8人	児童の成長に必要な体験、学習等を通して、家庭教育環境の向上を促すことを目的とし、親子でソフト粘土のクリスマスリース作成を実施した。
青少年教育	剣道教室	地域の小学生等 20人	5月～ 3月 40回	地域の小学生を中心とした教室の中で、心身の育成を図る稽古を安全に配慮しながら、皆で力を合わせて行った。
	軽スポーツ大会	地区の小学生、 地域住民 20人	10/15 42人	地域と協働で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図った。
	夏休み子どもゼミナール	小学生5～中学生 20人	8/26 34人	中央公民館との共催事業であり、天体分野の専門講師により、和田ふるさと館においてゼミ、星空観察を実施した。
	子ども芸術鑑賞会	市内の小学生	8/11 25人	地域で活動している団体を招き、おはなし会を開催した。
佐倉学	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各15人	6/24 4人 10/1 4人 2/3 8人	地区の小学生向けに、地域の方を講師に招き、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める料理教室を実施した。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各10人程度	7/22 20人 8/4 6人	7月はたおり親子体験を実施した。 8月手芸体験は三角形の小物入れを作成した。
和田市民大学	佐倉学講座 和田地域学	市内の成人 10人	9/23 9人 10/22 6人 11/12 4人 12/23 6人 1/20 3人	9月は佐倉市職員により「文化財がつなぐ地域の歴史文化」の講義を実施した。 10月、11月は地域農家により「有機農業の取り組み」の講義と現地見学を実施した。 12月は佐倉市文化財審議委員による「中世の和田地域」の講義を実施した。 1月は和田はたおり保存会による講義と体験を実施した。
	手芸教室	60歳以上の地区の成人 10人	5/19 6人 6/2 7人 7/7 8人 8/4 6人 9/1 6人 10/6 7人 11/10 7人 12/1 7人 1/12 8人 2/2 9人 3/1 10人	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりをする。また、受講生が子どもたちに服飾品の再利用を教え、物を大切にすることを指導した。
	和田工芸講座	市内の成人 10人	6/28 7人 7/19 7人 9/27 7人 12/17 10人	和田地区講師による陶芸講座を3回連続で開催した。 12月しめ飾りスタッフ講習会を実施した。
成人教育	こんにやく作り講座	市内の成人 15人	12/14 15人	地域の方を講師に招き、こんにやく芋から作る手作りの楽しさを学んだ。

領域	事業名		対象	期間・回数	内容
成人教育	和田地区防災講習会		地区の成人 30人程度	1/28 14人	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な講習、訓練等を行う。
	合同研修会		地区内の住民団体	1/14 23人	人口減少や少子高齢化などの地域課題などに対応する研修会として、地域食堂の主催者により講義を行った。
団体育成	団体育成事業		青少年育成住民会議・民俗資料収集委員会・はたおり保存会等	通年	・地域の住民団体等が円滑に活動できるよう、会議運営や各種調整、子育て事業、地域まつり等の協力、支援を行った。 ・施設利用社会教育団体等の活動継続などに係る協力、支援を行った。
広報展示活動	公民館だより発行		和田地区全世帯	9月、10月	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布。（各600部）
	歴史民俗資料室	展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示を行った。
			企画	11月～12月	和田文化工芸展を開催した。
		見学	市内小学校・一般団体等	通年	施設見学の際に解説やはたおり体験を実施した。市内7小学校の社会科見学に対応した。
図書	図書貸し出し		一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。

1. 家庭教育事業

子育て教室

参加対象者の見込みがないため教室の講師と協議の結果、開催を見送った。

家庭教育講座

①開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。

②募集対象 地区内の小学生と保護者6組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月2日（土） 10:00～11:30	親子で一緒にソフト粘土でクリスマスリースの作成	染谷 芳子

④講座を終えて ソフト粘土講師を迎えクリスマスリース作り講座を地区内の小学生と保護者対象で行った。同一小学校の親子であり和気あいあいとした雰囲気の中、親子で作品作りに没頭し、充実した時間を過ごすことができたと感じた。

2. 青少年教育事業

和田剣道教室

- ①開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ②募集対象 地域の小学生等 20人
- ③開設期間 令和5年5月～令和6年3月 40回
- ④指導者 片岡 康平、藤崎 英樹、江野澤 清美、鶴田 潤子、高山 裕司
- ⑤講座を終えて 剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。

軽スポーツ大会

- ①開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ②募集対象 地区の小学生 20人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月15日（日） 9：30～12：00	スカットボール、ボッチャ	和田地区 スポーツ推進員

- ④講座を終えて 和田地区青少年育成住民会議、和田地区社会福祉協議会共催であり、地域の子どもと地域住民が交流する事で、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。チーム分けでは、小学生と地区の大人と一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図れるようにした。（和田小学校体育館で実施）

夏休み子どもゼミナール

- ①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々を講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。
- ②募集対象 市内の小学5年生～中学生 20人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月26日（土） 19：00～20：30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ。	宇宙業界専門家

- ④講座を終えて 中央公民館と共催で実施しており、天体望遠鏡で星を観察するこの講座では、児童の宇宙への興味を掻き立て新鮮な感動を与える事が出来た。保護者が一緒に観察することで、親子間の関係も深まり、印象に残る一日となったと感じた。

子ども芸術鑑賞会

①開設趣旨 子どもたちに文化芸術等に触れ合う機会を提供し、親子等の参加も促しながら、その内容等の素晴らしさを肌で感じてもらう。

②募集対象 地区の小学生

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月11日（金） 10:00～10:45	子どもお話し会	末吉 正子主宰 佐倉ゆうゆう語り塾

④講座を終えて 平成30年度から地元の方が加入されている会であることから依頼している。幼児から大人までが楽しめ、演者の方の身振り、手振り、感情豊かな表現に児童たちはすっかり引き込まれて、飽きることなく集中して聴いていた。ゲームや映画のように画面からではなく、人の体温や息遣いが感じられ、地元の昔話を入れていただいたこともあり、とても好評であった。

佐倉っ子塾 料理教室

①開設趣旨 地元の方のご指導のもと、料理に興味を持ち、自立や協調性などの育成を図ることを目的として和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施する。

②募集対象 地区の小学生 各回15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月24日（土） 9:30～12:30	(1) ツナとえのきの炊込みご飯 (2) バナナケーキ (3) フルーツ・フルーチェ	六崎 美知代（地区協力者） 高梨 直子（地区協力者）
2	10月1日（日） 9:30～12:30	(1) ご飯 (2) 厚揚げの豚肉巻き (3) キャベツのスープ (4) チョコチップクッキー (5) りんごかん	六崎 美知代（地区協力者） 高梨 直子（地区協力者）
3	2月3日（土） 9:30～12:30	(1) 恵方巻 (2) ミックスベジタブルとベーコンのシチュー (3) チョコライスボール	六崎 美知代（地区協力者） 高梨 直子（地区協力者）

④講座を終えて 子どもたちが料理に興味をもち、衛生面に気を付けながら協力して調理し、楽しく食べることを学んでいる様子が感じられる。低学年児童が意欲的に申し込みにてくる事業であることから、地元協力者の方も力を入れて指導してくださっている。

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

①開設趣旨 伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。

②募集対象 市内小学生と保護者12組（はたおり）、地区の小学生10人（手芸）

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月22日（土） 10:00～15:00	はたおり親子体験	はたおり保存会
2	8月4日（金） 10:00～14:00	夏休み手芸体験	和田市民大学手芸教室講師 手芸教室生徒

④講座を終えて 「はたおり親子体験」は、家族参加で初めての体験を一生懸命取り組んでいて、次回も参加したいという声を多数いただいた。夏休み手芸体験は、和田市民大学で公民

館を利用している高齢者が小学生を指導することにより世代間交流をするとともに、子どもたちが、一つの作品を作り出す喜びを味わうことができる機会であり、満足感を得ることができたと感じる。

3. 成人教育事業

佐倉学講座 和田地域学

①開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。

②募集対象 市内の成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月23日（土） 9：10～11：30	オリエンテーション 文化財がつなぐ地域の歴史文化	佐倉市職員 須賀 隆章
2	10月22日（日） 9：30～11：30	有機農業の取組について（1）	林農園 林 重孝
3	11月12日（日） 9：30～11：30	有機農業の取組について（2）	林農園 林 重孝
4	12月23日（土） 9：30～11：30	和田の古道	佐倉市文化財審議会 副委員長 遠山 成一
5	1月20日（土） 9：30～11：30	はたおり体験	和田はたおり保存会

④講座を終えて 和田地区の歴史、農業、文化に係る学習講座を実施した。学習内容が多項目あり受講者の学びの意欲を向上させる事が出来たものと捉えている。

和田市民大学手芸教室

①開設趣旨 手芸の知識や技術の向上を目指すとともに、地域の親睦や生きがいを図る。また、児童に手芸を指導する場を設けることで異世代間交流を深め、児童にも精神的な向上を望む。

②募集対象 60歳以上の地区の成人 10人

③実施期間 令和5年5月19日～令和6年3月1日 11回

④講座を終えて 長年にわたる活動により、受講生の技術が向上し集中して意欲的に作品づくりに取り組んでいた。2名の新規加入者があった。

和田市民大学和田工芸講座

①開設趣旨 和田地区において行われてきた機織り、わら工芸などを地域の伝統文化として位置づけることにより、地域を特色づけ、アイデンティティを醸成する。

工芸は静かな環境で時間をかけてゆったり育まれるものであり、地域性にも合っているため、各種工芸を実施していく中で、地域づくりにつなげていく。

②募集対象 市内の成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月28日（水） 9：30～11：45	陶芸①「成形」	地元陶芸家 安本 幸世
2	7月19日（水） 9：30～11：45	陶芸②「削りと高台付け」	地元陶芸家 安本 幸世
3	9月27日（水） 9：30～11：45	陶芸③「施釉」	地元陶芸家 安本 幸世
4	12月17日（日） 9：00～15：30	しめ飾りスタッフ講習会	地域のしめ飾り講師

④講座を終えて 「陶芸講座」については、地元陶芸家の指導の下、連続3回講座として実施し今年度も親切・丁寧な指導のおかげでより良い作品づくりが出来た。作品は11月～12月の和田文化工芸展において展示した。「しめ飾りスタッフ講習会」は、地域の伝統文化のわら工芸講座を地域の有志スタッフにより行った。

こんにゃく作り講座

①開設趣旨 地域の伝統的食材を活かして地域間交流と食文化の伝承を図る。

②募集対象 市内の成人 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月14日（木） 9：00～12：00	こんにゃく芋から成形し手作りこんにゃくをつくる	牛玖 昌弘

④講座を終えて 長年講師を務められている方を迎え講座を行った。大変人気があり、次回も参加したいという声をいただいた。

和田地区防災講習会

①開設趣旨 地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。

②募集対象 地区の成人 30人程度

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月28日（日） 10：00～12：00	避難所運営ゲーム	市役所職員 高石 智継 橋本 裕介

④講座を終えて 避難所に見立てた学校の平面図を用いて避難所運営の疑似体験を行った。避難所の運営について自助、共助を意識する機会となった。

合同研修会

①開設趣旨 地域づくり活動として地域食堂の可能性についての講習を行う。

②募集対象 地区住民団体 30人程度

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月14日（日） 14：00～15：30	和田地区における地域食堂の検討	地域食堂代表 唯 愛

④講座を終えて 地域食堂「ひだまりのたね」代表による講話を行い、地域での地域食堂の検討を行った。

4. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部子ども政策課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

②和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行っている。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
○発行回数 年2回（9、10月号）
○発行部数 700部
○配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演を行った。
○期間・回数 開館日数 334日 来館者数 942人
うち小学校社会科見学来館者数 392人

6. 図書事業

図書貸し出し

- ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。
○蔵書数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	0	0	0	0	0	1	8	1	0	0	4	1	15
返却数	16	0	40	0	0	0	3	23	0	0	6	10	98